

- ・長崎河川国道管内において防災検討会を開催し、防災カルテ点検において変状が確認されなかった箇所等について、TEC-FORCEアドバイザーに意見を伺ったうえで点検頻度や判定区分の見直しを行っており、今回の検討会においても、今後の点検計画の見直しについてTEC-FORCEアドバイザーの意見を伺った。
- ・さらに、法面変状箇所の継続観測結果について報告し、今後の観測頻度や重点的に確認すべき項目について、TEC-FORCEアドバイザーの意見を伺った。

参加者：九州大学 ^{みたに}三谷教授、長崎大学 ^{じゃん}蔣教授、^{すぎもと}杉本准教授 場所：長崎河川国道事務所

● TEC-FORCEアドバイザーによる防災検討会での助言（令和7年12月22日）



【TEC-FORCEアドバイザーからの助言】

（防災カルテ点検）

- ・谷部に認められる転石に苔が繁茂し、土砂等の堆積も認められない。
- ・変状の進行性は無いものと判断されるため、巡回へ移行して良いと判断される。

（法面変状箇所）

- ・定期的な点検頻度を設定するのではなく、大雨等の事象により点検を行うよう検討すべき